

事業概要説明シート

事務事業番号 30394

事務事業名	水道施設危機管理事業		
事業開始年度		担当部署	浄水課

根拠法令	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> その他(請負工事))
目的 (何のために)	様々な危機事案に対し、緊急時の給水量の確保を図るとともに、災害の未然防止、被害の最小化、災害の拡大の抑止を図り、市民への水道水の安定供給を図る。
対象 (誰・何を対象に)	応急給水施設の整備
事業内容	大地震が発生し、配水管が破損した場合に配水池からの水の流出を防ぎ、配水池の水道水を市民に提供できるようにするため、各配水場等に緊急遮断弁の設置を行う。災害時には市民一人当たり80リットルの、市民生活に最小限必要な給水量を確保し、安心・安全な水道水の安定供給の持続を目指す。
類似事業	他市:緊急遮断弁設置事業
事業の必要性	これまでの震災例から見ても大規模地震に際しては被害が避けられないことから応急給水施設を整備し、飲用水等の応急給水の確保を図る必要がある。

コスト		H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員		1.05 人	8,520 千円	0.75 人	6,068 千円	0.80 人	6,400 千円
再任用職員		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円
非常勤職員等		人	千円	人	千円	人	千円
人件費計(A)			8,520 千円		6,068 千円		6,400 千円
直接経費(B)			58,271 千円		305 千円		4,650 千円
総事業費(A+B)			66,791 千円		6,373 千円		11,050 千円

財源内訳		H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
国庫支出金			千円		千円		千円
府支出金			千円		千円		千円
受益者負担 (使用料等)			千円		千円		千円
その他			千円		千円		千円
一般財源			66,791 千円		6,373 千円		11,050 千円

平成23年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容	金 額
	高度処理施設東側フェンス設置工事	305 千円
		千円
		千円

事業概要説明シート

事務事業番号 30394

事務事業名	水道施設危機管理事業		
事業開始年度		担当部署	浄水課

活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
	① 災害時給水確保量	リットル／人	40	40	40
②					
③					

単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	①				
	②				
	③				

成果目標 (目標とする成果)	災害時に市民一人当たり80リットルの給水量確保
-------------------	-------------------------

比較参考値 (他自治体での事業の例など)	
-------------------------	--

特記事項	平成7年から各配水場に緊急遮断弁を設置し、平成23年度末では9施設10箇所整備済 給水確保量目標年次計画:H26年度 55.7ℓ、H28年度 58.3ℓ、H29年度 61.5ℓ、H30年度 64.3ℓ、H31年度 75.3ℓ、H32年度 82.4ℓ 緊急遮断弁設置工事については、配水池の耐震工事を伴うことが多い。しかし、この耐震化工事は事業規模が大きいことから単年度では完結しないため、実績値の伸びが表れにくい。
------	---

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	危機管理行動指針、浄水課版BCPなどを基本とした危機管理の実施
----------------------------------	---------	---------------------------------

一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時給水確保量の実績が伸びていないことへの対応策の検討が必要では ・事業の有効性の検討が必要では 	
--------	---	--

二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	今後、基幹施設等の重要な施設から順次緊急遮断弁の整備を進めるため、計画的及び継続的な事業の実施を目指す。
----------------------------------	---------	--